

「きずな」の定期配布
「きずな」は、市政や市議会など身近な情報を提供する地域情報紙をめぐっています。定期的な配布(無償) 希望の方は連絡を下さい。

「住民こそ主人公」



疑問や情報をお寄せください。



みなさんからの情報や疑問をきっかけに調査します。QRコードから「これ知りたい」「あれに困っています」をお寄せください。

オンライン講演

「私が原発を止めた理由」

元福井地裁 裁判長・樋口英明さんの講演に40名参加

関西電力大飯原発3、4号機の運転差し止め判決と高浜原発3、4号機の再稼働差し止めの仮処分決定を下した樋口英明元福井地裁裁判長のオンライン講演が18日、薩摩川内市内でおこなわれました。

大型スクリーンに映し出された樋口氏は会場で講演しているかのように参加者に「地震国日本で一般住宅よりも地震に弱い構造の原発は早く止め

るべき」と語りかけました。また最後に樋口氏は「川内原発20年運転延長反対の意見広告運動に賛同してください」と締めくくりました。



(写真) 元福井地裁裁判長の話聞く

シリーズ

新型コロナウイルスQ&A①

インターネットを中心に新型コロナウイルスワクチンについての誤情報が流されています。そのことによるワクチン接種への誤解や日本共産党の見解についてQ&Aをシリーズで掲載することになりました。

Q、ワクチンは打つべき、打たないべき?

A、ワクチン接種はあくまで個人の自由意思にもとづいて行われるべきであり、接種の有無による差別があつてはならない

い、というのが党の立場です。アレルギー性疾患などで、接種を控えるよう医師から指示・助言されている人もいます。法制度上も、行政機関などが個人に予防接種を義務として、強制することはできません。

感染症の専門家は、国内で世論調査などに「接種を希望する」と回答している6〜7割の人に新型コロナウイルスワクチンが行きわたれば、集団免疫の獲得により、コロナ感染を大幅に抑制することができると予測しています。その点で、「接種を希望しない」と回答している方々に無理に接種

を求める必要はありません。ただ、この間、新型コロナウイルスワクチンをめぐっては、「治験がまだ終わっていない」「メッセンジャーRNAによって遺伝子が書きかえられる」「胎盤が作られなくなる」「不妊になる」など(2面1段に続く)

こちらくらの相談所 (No. 468)
なんでもご相談ください。
携帯 080(3996) 0237
市議会議員 井上かつひろ

安全装置と道路愛護

最新の安全装置がついた自動車は、道路脇に生い茂る雑草に反応し急ブレーキがかかったり、危険を知らせる警告音などが鳴るそうです。ドライバーの中には、このように

安全装置をはずしてしまふ人もいるというのだから何のための安全装置かわからなくなつてしまいます。この季節には、「道路わきの雑草を払ってほしい」という相談が増えますが、自動車の安全装置の普及が進めばさらに切実さが増すことになりそうです。ちなみに薩摩川内市内を走る国道は66キロメートル、県道は336キロメートル、市道の実延長は1549キロメートルです。2010年は道路愛護活動参加者は累計で18482人、延長1041キロメートルも実施されましたが2017年にはなんと16934人、882キロメートルと158キロメートルも減ってしまいました。これからますます道路愛護活動にかかわる人が少なくなるでしょう。道路維持にあたる職員を適切に確保することが大切です。道路に関するご相談もこちらに気軽にどうぞ。

感染拡大が懸念される中 川内駅コンベンションパークグランド オープンセレモニー

井上議員、感染対策を質問

7月12日に発表された7月30日から8月1日の3日間行われる川内駅コンベンションパークグランドオープン記念イベントについて、日本共産党の井上かつひろ市議は薩摩川内市に対し質問のメールを送りました。

同イベントは、「らんと」(7月31日、募集定員800名)、AIさん「スシヨ」(7月30日、募集定員500名)、「柿落とし」ステージイベント(8月1日、募集定員400

名)、歌手の松本圭使さんや松下奈緒さんなどの記念コンサート(同日、募集定員500名)、S広場では観光物産展駅前広場では食のうんまが市、会場全体で謎解きラリーなど豪華な内容になっています。しかしながら新型コロナウイルスの感染予防について明記されておらず、いわゆる人流をつながす内容になっており、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されます。レガッタ大会市民運動会、大綱引きの(2面5段に続く)

(1面最下段から続く)

ネット上を中心に、「反ワクチン」の虚偽情報(フェイクニュース)が盛んに流されています。こうした、科学的根拠のないウソ情報によって、接種を希望していた人が、接種をやめるようなこともあってはならない、と考えます。こうした非科学的な「反ワクチン」の主張に対しては、コロナ対策の最前線に立っている研究者のみならず、「こびナビ」という説明

エプロンおばさんの簡単クッキング (532)



超簡単カレーうどん

(材料)

- うどん……1玉
- 豚こま……50g
- お湯………300 cc
- カレー粉…小1
- めんつゆ…1/4 カップ
- 片栗粉……小2
- 油揚げ……1/2 枚

つくりかた

- ①冷凍うどんの場合は、水にくぐらせレンジで2~3分加熱
- ②ナベに具を入れ、うどんも入れ一煮立ち。味見して片栗粉を水(小2)で溶かしたものを加えてトロミをつけます。青味をちらして出来上がり。5分でできます。

反論のサイトを立ち上げ、政府の河野太郎ワクチン担当相も、この「こびナビ」(ネット検索してください)にもとづく情報発信をブログやSNSで行っています。

日本共産党は、政府に対し、ワクチンについての誤った情報をただす科学的説明をきちんと行うと同時に、副反応などリスクにかかわる情報も開示し、徹底した情報公開によって、国民の不信を解消することを提起しています。

Q、ワクチンは本当に有効? A、現在、日本で接種に用いられているファイザー社製とモデルナ社製のワクチンは、ともに、90%以上の発症予防効果が確認されています。通常の季節性インフルエンザ・ワクチンの発症予防効果が50~60%ですから、その有効性の高さは明らかです。ワクチンの接種が、国民の5~6割程度に到達したとされるイギリスやイスラエルでは、

は、今年の春、感染者が大幅に減少しました。現在は、インドで発見された変異株(デルタ株)の影響もあって感染が再拡大しています。そのなかでも重症者・死者の数は大きく抑えられています(21年6月29日の新型コロナウイルスによる死者数:日本1130人、イギリス113人、イスラエル11人)。

日本共産党は、ワクチンはコロナ収束に向けた有力な手段であると考え、接種を希望する人が安全・迅速に接種を受けられる体制をつくることを提案しています。

Q、ファイザー社のワクチンは治験を終わっていない? A、それは、まったくの誤情報です。上記の「こびナビ」を参照ください。日本で用いられているファイザー社のワクチンは、4万3000人の治験を経て各国で承認されました。その数は、通常の「10年かけ

(1面4段から続く)

中止、花火大会の延期など多くのイベントが中止・延期される中で、グラントオーブン記念イベントが特別扱いにされている印象はぬぐえません。

薩摩川内市では、6月29日に60例目である感染者が確認されており、ワクチンの供給不測から19歳から49歳のワクチン接種の予約開始日が延期されています。東京などの大都会では再び第5波の感染拡大が起っています。中止を求める世論に逆らって菅自公政権によって東京五輪が強行されようとしています。

季節的にはお盆の帰省客など都会から地方へと人流がさらに大きくなる方向です。同イベントはさらに人流拡大に拍車をかける内容になっていないでしょうか。以下の質問にご回答いたします。

- 1、感染対策から同イベントの中止・延期は検討されなかったのか。
- 2、感染拡大地域から市内を訪れる芸能人や関係者などのPCR検査など実施する予定はあるのか。
- 3、その他、新型コロナウイルス感染症予防対策は具体的にどうなっているのか。

「国際的な共同治験」であり、それだけで特例承認することも可能でしたが、日本ではさらに、国内の第1相、第2相まで行った上で承認に至りました。すでに治験は終了しており、「有効性、安全性は確認された」というのが、日本の医学会・医療界の共通認識です。

「外国人に安全でも日本人に安全とは限らない」という議論がありますが、欧米の治験では、日人を含む数万人規模のアジア系住民にも接種をしており、それらの人々に特異的に副反応があったという報告は出ていません。ファイザー社の治験は

「学ぶ」の語源は「まねぶ」、つまり真似るということだが、今年の「まねぶ」の成果が遺憾なく発揮されている。師匠は、児童館前のFさんだ。昨年のことである。Fさんの畑の、竹で編んだ棚のわずかに二本の苗から伸びたゴーヤのつるに、ゴーヤが無数にぶらぶらりと揺れていた。私は4本植えて竹にはわせたが、さっぱりで、よくもあんな沢山と、それからというもの、秋から冬にかけてのゴーヤづくりをじっくり観察してみた。まず棚はそのまま、ゴーヤを植え付けるところに、深い穴を掘ってある。そこへ、野菜のくずなどをに入れては土をかぶせ、かぶせては入れるの作業を繰り返していた。私も早速竹で棚を作り、二か所深い穴を掘った。そこへ台所から出た残さいを、これでもかこれでもかと投げ込み土をかぶせた。そうやって冬を越し、春先に苗を買って植え付けた。それが功を奏したのだらう。つるは見事に太く伸びて、ぶらぶらと無数にゴーヤを増やし続けている。とてもじゃないけど二人では食べきれず、あちこち配って喜ばれている。今のところ、配る相手は児童クラブに子どもを通わせるお母さんが主で、若いお母さんたちだけに、つるこりされるとこちらもほわつとなる。児童クラブに勤める前までは、陰気くさいご老人で、支援員としてもよたよたと、なんとも頼りない私だったが、ゴーヤとキュウリでじわじわ人気が出てくる。もつともこれが長続きすればいいが。(高来児童クラブ支援員)

中俣先生のつれづれなるままに (657)



「学ぶ」の語源は「まねぶ」、つまり真似るということだが、今年の「まねぶ」の成果が遺憾なく発揮されている。師匠は、児童館前のFさんだ。昨年のことである。Fさんの畑の、竹で編んだ棚のわずかに二本の苗から伸びたゴーヤのつるに、ゴーヤが無数にぶらぶらりと揺れていた。私は4本植えて竹にはわせたが、さっぱりで、よくもあんな沢山と、それからというもの、秋から冬にかけてのゴーヤづくりをじっくり観察してみた。まず棚はそのまま、ゴーヤを植え付けるところに、深い穴を掘ってある。そこへ、野菜のくずなどをに入れては土をかぶせ、かぶせては入れるの作業を繰り返していた。私も早速竹で棚を作り、二か所深い穴を掘った。そこへ台所から出た残さいを、これでもかこれでもかと投げ込み土をかぶせた。そうやって冬を越し、春先に苗を買って植え付けた。それが功を奏したのだらう。つるは見事に太く伸びて、ぶらぶらと無数にゴーヤを増やし続けている。とてもじゃないけど二人では食べきれず、あちこち配って喜ばれている。今のところ、配る相手は児童クラブに子どもを通わせるお母さんが主で、若いお母さんたちだけに、つるこりされるとこちらもほわつとなる。児童クラブに勤める前までは、陰気くさいご老人で、支援員としてもよたよたと、なんとも頼りない私だったが、ゴーヤとキュウリでじわじわ人気が出てくる。もつともこれが長続きすればいいが。(高来児童クラブ支援員)

←中俣先生のブログはこちら



「学ぶ」の語源は「まねぶ」、つまり真似るということだが、今年の「まねぶ」の成果が遺憾なく発揮されている。師匠は、児童館前のFさんだ。昨年のことである。Fさんの畑の、竹で編んだ棚のわずかに二本の苗から伸びたゴーヤのつるに、ゴーヤが無数にぶらぶらりと揺れていた。私は4本植えて竹にはわせたが、さっぱりで、よくもあんな沢山と、それからというもの、秋から冬にかけてのゴーヤづくりをじっくり観察してみた。まず棚はそのまま、ゴーヤを植え付けるところに、深い穴を掘ってある。そこへ、野菜のくずなどをに入れては土をかぶせ、かぶせては入れるの作業を繰り返していた。私も早速竹で棚を作り、二か所深い穴を掘った。そこへ台所から出た残さいを、これでもかこれでもかと投げ込み土をかぶせた。そうやって冬を越し、春先に苗を買って植え付けた。それが功を奏したのだらう。つるは見事に太く伸びて、ぶらぶらと無数にゴーヤを増やし続けている。とてもじゃないけど二人では食べきれず、あちこち配って喜ばれている。今のところ、配る相手は児童クラブに子どもを通わせるお母さんが主で、若いお母さんたちだけに、つるこりされるとこちらもほわつとなる。児童クラブに勤める前までは、陰気くさいご老人で、支援員としてもよたよたと、なんとも頼りない私だったが、ゴーヤとキュウリでじわじわ人気が出てくる。もつともこれが長続きすればいいが。(高来児童クラブ支援員)